

4. 継続面接

(1) 今日の相談シート (p. 23) の使い方

今日の相談シートは、面接を進めやすくするためのツールです。支援者が面接中に面接の展開の仕方を確認したり、家族と相談内容を共有したりすることに役立ちます。家族の話をただ聞いているだけだと、「話は聞いてくれるけれど、どうしたらよいか何も教えてくれなかった」と不満を持たれる場合があります。

一方、家族の質問に一つ一つ答えていると、いつのまにか時間が超過してしまうこともあります。家族の面接に対するニーズ、支援者側が感じる課題の両方をつかみ、効率的に時間を使うためには、面接を構造化することが必要です。

シートは、STEP1～3の三段階で構成されています。

● 「STEP1：今日のテーマ」

家族と信頼関係を構築し、話題設定とその取り上げ方・扱い方の決定（アジェンダ・セッティング）を行います。

● 「STEP2：今日学んだこと・支援者からのアドバイス」

アセスメント、プランニング、情報提供などの方法を用いながら、STEP1で決めた話題を進めていきます。

● 「STEP3：次回までにやってみること」

次回までにやってきてもらう内容を具体的に決めること、次回の約束をして面接を終了します。各段階のポイントや積極的に用いるスキルについては、表4「今日の相談シートの使い方」を参考にしてください。

表4 今日の相談シートの使い方

シートの番号	◆ ポイント	◇ 積極的に用いるスキル
STEP1	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 面接の2割程度は、信頼関係構築のために使う。 ◆ 家族の言うことに一問一答方式で答えていくのではなく、まず、取り上げたいことをいくつか引き出し、その中から今日取り上げるべき重要な課題を決める。 ◆ 課題が決まったら、支援者はその課題にどう取り組むのがよいか考え（アセスメント/プランニング/情報提供など）、家族に提案する。 ◆ 最初はSTEP1に時間がかかるが、相談回数を重ねるうちに、残りの部分に時間をかけることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 来談をねぎらう（是認）、語られた内容の確認やリフレクティング（聞き返し）、オープン・クエスチョンなどのスキル。（pp. 9-10参照）

表4 今日の相談シートの使い方（続き）

シートの番号	◆ ポイント	◇ 積極的に用いるスキル
STEP2	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 関わり初期段階では、アセスメントを行い、それに基づいた適切な支援目標を設定することが多くなる。 ◆ STEP1で選ばれたテーマに対して、①情報提供(心理教育)、②今後のプランニング、③経過の報告と共有、④家族が行動を変えられるための働きかけ、⑤気持ちを受けとめ情緒的に支える、などの対応をする。 ◆ プランニングや情報提供を行う際に、「家族心理教育プログラム」を使えそうであれば活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 家族自身に「変わること（変化）」を語ってもらうなど、家族の変化を促すためのスキル。(pp. 12-15参照)
STEP3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本人の様子の観察、社会資源の情報収集、夫婦の話し合いを持つことなど、宿題を出した時には、具体的に、いつやるか？どのようにやるか？などを家族自身が話せるように働きかけ、動機づける。 ◆ 最後には、「今日の面接では聞きたいことが聞けましたか？」「面接の感想はどうですか？」などと家族からフィードバックをもらう。 ◆ 次の面接の日時と次の回で扱うテーマ（予定）を決める。 	

この相談シートはいろいろな使い方ができますが、以下に使い方の例を二つ紹介します。

●例1：支援者が面接の流れを記録するために使う

例えば、STEP1には、家族が今日取り上げたい内容として語ったことを忘れないようにメモしておき、最終的に決まったテーマ（例：本人を受診させたい）を丸で囲んだりアンダーラインを引いたりします。今日の面接時間をどう使って課題を達成するかアイデアも簡単にメモしておきます。（例：受診の勧め方を振り返ることと、今後について新たなアイデアを出すこと）

STEP2には面接で話し合われたことをメモします。例としては、「受診を勧めるときいつものパターン」、「心理教育の資料を活用した結果どんな改善点が見つかったのか」、「それを活かしてどのように計画したか」などです。

STEP3では、次回までの宿題を記録し、支援者はこの記録を見ながら今日の面接内容をまとめて家族に返し、また、家族からフィードバックをもらいます。

●例2：今日の面接の要点を確認するために家族と支援者がシートを共有する

面接場面で家族は緊張していることが多く、面接で話し合ったことを後から思い出せなくなったり、宿題があいまいになったりします。そのような結果を避け、家族が自宅でも面接内容を復習出来るためにシートを用います。

この場合は、重要ポイントを絞り、家族にとって明確でわかりやすくすることを意識して記録する必要があります。細々したことを記録するのではなく、決めたテーマや、今日の面接の中で得た新しい知識や方法、次回までの課題など、を記入します。このような使い方をすることは、家族自身に忘備録として記入してもらうという方法もよいと思います。また、面接が終わったらシートをコピーして、両方が保管できるようにするとよいでしょう。

年 月 日

今日の相談シート

STEP1 : 今日のテーマ

STEP2 : 今日学んだこと・支援者からのアドバイス

STEP3 : 次回までにやってみること

次回相談日 年 月 日

